



### シリーズ版 ⑦

## 認知症の症状

### ～幻視～

認知症の方に見られる症状として「幻視」があります。実際にはないものが見える症状で、「幻覚」の一種です。

#### 左の4コマ漫画のおじいさんの場合

- 極めて具体的に子どもの姿が見えている。
- 部屋にいた子どもが急に姿を消し、混乱している。



「間違いなく、ここに子どもがおったんや！」



「子どもなんて最初からいないでしょ。変なこと言わないでよ！」



「そうなんだ。そろそろご飯の時間だし、お家に帰ったのかしらね。」



「幻視」は特にレビー小体型認知症(裏面記載あり)の初期からよくみられる症状です。本人自身で幻視に気づくこともあれば、現実の出来事として訴えることもあります。どんなに現実離れた内容でも本人には実際に見えていますから、その気持ちに寄り添い、頭から否定しないようにしましょう。

### 安心感をもってもらえる対応を!

幻視の症状が出たら、病院を受診して原因を特定しましょう。

早期に診断を受けて治療を開始することで、進行を遅らすことができる場合があります。



# ～認知症の基礎知識～ 認知症の種類

原因となる脳の病気によって特徴は様々です。主に認知症には4つのタイプがあります。

## アルツハイマー型認知症



最も多い認知症です。脳の神経細胞の数が減少することで起こります。記憶障害や日付などが分からない見当識障害など徐々に進行していきます。

## 脳血管性認知症



脳梗塞、脳出血などによって、その部分の脳の働きが悪くなり、起こります。できることとできないことがはっきりしていることが特徴です。

## レビー小体型認知症



脳や体にレビー小体というたんぱく質がたまることで起こります。手の震えといった症状が出たり、幻視があらわれたりするのが特徴です。

## 前頭側頭型認知症



脳の中の前頭葉や側頭葉が主に傷害されることによって起こります。記憶障害の症状は軽く、理性や感情をコントロールすることが難しくなります。

「認知症」といっても症状は様々です。そのため、他の病気と間違えやすい場合もあります。病気によって治療方法は異なり、また、早期発見・早期治療によって改善することができるものもあります。「あれ？」と気になることがあれば、まずは相談してみましょう。



リニューアル  
しました！

## 認知症ほっとけんパス

【横軸】  
認知症の疑いから発症、  
進行状況を表しています



「認知症ほっとけんパス」って??

認知症の進行状態に応じた相談先や利用できるサービス、支援内容を1枚にまとめたものです。認知症についての不安を解消し、安心して暮らしていくための参考としてご活用ください。



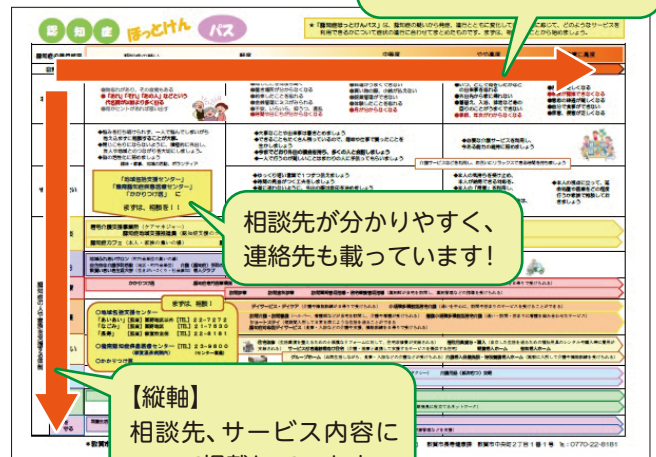
もっと詳しく知りたい!!

サービスなどをより詳しくまとめた「認知症相談ガイドブック」があります。



どこにある??

介護サービス事業所や医療機関、薬局、公民館などに設置してあります。また、「認知症相談ガイドブック」とともに市のホームページからダウンロードもでき、市役所長寿健康課でも配布しています。(右のQRコードからも読み取りできます。)



相談先が分かりやすく、  
連絡先も載っています!

【縦軸】  
相談先、サービス内容に  
ついて掲載しています

【QRコード】



※QRコードは株式会社 デンソーウェブの登録商標です。

認知症ほっとけんまちハンドブック  
シリーズ版⑦ 令和2年2月発行

発行：敦賀市 長寿健康課 ☎22-8181  
協力：敦賀市認知症支援推進協議会



敦賀市 認知症サポーター数：11,749人 (R元年12月末 時点)

※ご依頼があれば、どこでも「認知症サポーター養成講座」を開催できます。長寿健康課までご連絡ください。

次号につづく

